

## 2011年8月21日 主日礼拝

司 会 ①秋葉兄 ②当麻哲兄 ③小嶋兄

奏 楽

祈 禱 ①川村師 ②綴木兄

賛 美 聖歌430番 (こころ静かに)

十 戒

聖 書 ① マタイによる福音書18章15～22節

②③ ローマ人への手紙12章9～18節

音 楽 ① ユン・ボクヒ女史(V)

②③ Wings

証 詞 ①石橋雄介兄(大学生)

メッセージ ① 「490度の回復」 菅原岳伝道師

②③ 「愛にいきることの喜びと祝福」 大川従道牧師

賛 美 聖歌442番 (献金)

主の祈り

祝 禱

「あなたがたは、できる限りすべての人と平和に過こしなさい。」

(ローマ十二の十八)

### 【大和ニュース】

- ・ 暑中御見舞申し上げます。熱中症にならないようご注意ください。
- ・ 本日、入門講座Ⅲ、手話、SS教師会、送迎駐車場奉仕会、J.Plus等あり。  
(柴田師が鴨居に行かれるので、どうしても駐車場奉仕者が必要です！ Help！)
- ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝、説教は坪井副牧師。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は森屋伝道師。
- ・ 週末礼拝は、土曜夜6時～7時。説教は久保田補教師。
- ・ 早天祈禱会が祝されています。火～金、毎朝6時～6時45分、泉チャペル。
- \* 「クリスチャンキッズの会」は、土曜朝9時半。森チャペルにて。楽しいですよ！
- \* ご婚約おめでとうございます。久保田満様と長岡愛様。第3礼拝後、泉チャペル。

### 石の枕

これは、朝日新聞「声」の欄に載ったICAの菅野勝治郎先生の文章です。私が代表を務めるボランティア活動「手を貸す運動」は西アフリカ・シエラレオネで生徒約2600人の学校に給食援助などを行っています。先日、同校で働く日本人シスターが一時帰国され、生徒たちが集めた総額500ドル(約4万円)の東日本大震災義援金を届けて下さいました。

一日一食も満足に食べることができないシエラレオネ。学校給食が一番の頼りという家庭の子どもが多い中での寄金です。自分たちの食料でもある野菜やマンゴーを売って得たお金を持ち寄ってくれたそうです。また、同校は私たちが贈る予定だった給食・教育支援金一ヵ月分計200万円も辞退されました。

「自分たちの給食をイモや雑穀にすれば何とかなる。こちらの子にひもじい思いはさせないから支援金を全額、東日本の義援金にして下さい」というのです。彼らには貴重な資金のはず。私たちはそれを同校の名で義援金にしました。

世界の最貧国の一つの国の子どもたちから寄せられた心からの義援金が、被災地の皆さんを元気づけてくれることを願って、報告させていただきます。

「何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである」(ローマ12の2)とありますが、このようなことを通しても、現代の日本人が学ばなければいけないことに気づかされます。

青年会の小倉香織さんが、フィリピンのカオハガン島にもどりました。島にカフェを建設して癒しの空間をつくること、美術の授業を継続的に続けること、アートの島にしていくことが、今回の目的です。

日本に戻って感じたことは、物に溢れ、消費させようと購買意欲をあおる社会で、大切なものを見落としているように思えました。豊かな自然を壊さず、守り、必要最低限の与えられたものを感謝して生きる生活がカオハガンにはあります。(牧師評:あの日曜学校のかおりちゃんが、立派にものを考え、自分の賜物を生かし、神から与えられたビジョンをコツコツ実践していることに驚き、またうれしくもあります。若者よ！語学を身につけ海外生活で大切なことを学んできなさい！！)\*ロバは旅をしても、ロバのまま、という厳しい格言があるが、外に出れば足腰が強くなり、忍耐深い人格者になれます。「ローマ(老婆)は一日にしてならず」。コツコツ聖書を読み、祈ること。私たちは、神の言に熱中シヨウ！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: Iコリント3章～8章 Bコース: 詩篇119篇～135篇